

発足15周年記念 「“みんなで守ろう きれいな水”講演会」を開催



山内道雄氏の講演



松村治夫氏の講演



パネル展示

10月15日(日)、八東体育文化センターにおいて、HSC発足15周年記念事業として、「“みんなで守ろうきれいな川”講演会」を開催しました。

地域住民に広く川の環境保護への関心を高めてもらうとともに定款に定めている事業項目のひとつ「まちづくり」に関する講演も盛り込んだこれまでにない新しい企画。

鳥取県・八頭町などの行政機関や公立鳥取環境大学、商工団体、農林漁業団体、婦人団体、報道機関など11団体もの多くの後援をいただきました。

この種の事業としては、平成26年1月に開催した第2回八東川フォーラムから3年ぶりです。

矢部理事長の主催者あいさつに続いて、八頭町長吉田英人氏に来賓あいさつをいただき、講演に移りました。

まず、初めに島根県海士町長山内道雄氏による「“ないものはない”まちづくり」の演題の講演。会社員退職後、財政危機にあった離島の町長に就任し、思い切った行財政改革、地域資源を生かした産業活性化策、移住の促進、地域活性化の人材育成などに取り組んでこられた実例について、病気が上がりで体調不良の中、熱く語られました。

次いで公立鳥取環境大学環境学部教授松村治夫氏による「ごみは 世界をめぐる」の演題の講演。

八東川クリーンアップ大作戦の実施状況とその成果、鳥取環境大学で行われたごみの海流実験の様、更には東日本大震災などの影響などと流失るごみ問題と対策などについて幅広くお話があり、「地域の力で八東川を水質日本一の川にしよう」と結ばれました。

また、HSCのプロフィールや千代川流域圏会議のフォトコンテスト入選写真、鳥取県の川の関するパネル、鳥取環境大学の環境保全に関するパネルなどの展示を行うとともに、講演開始前や休憩時間には、HSCの活動内容が放送された民放テレビ、八頭町ケーブルテレビの映像を放映しました。

イベントシーズンや農作業などの季節と重なったためか、参加者は、約70名と想定よりかなり少なかったものの、アンケート結果では、催しの評価は極めて高いものでした。



矢部理事長の主催者あいさつ



吉田八頭町長の来賓あいさつ



熱心に聞き入る来場者

今年度もあいおいニッセイ同和損保様から寄付金の見込

既にメールでは、お知らせしましたが、あいおいニッセイ同和損保様から今年度も寄付金を授与するとの連絡が先月入っています。

寄付額は未定で、贈呈時期については、平成30年1月～3月の予定です。

今後の活動計画

11月11日(土) 9:30～ 八東小フェスティバル(学習発表会・交流会)

11月12日(日) 13:00～ 男女共同参画フェスティバルに出展

(八頭町中央公民館)

12月13日(水) 17:00～ 例会 } (東家、船岡駅真ん前、72-0013)

*いつもの会場は、連泊予約でとれず。

【例会(第143回の開催について)】

- ・日時：12月13日(水) 17:00～
- ・場所：東家(船岡駅前、72-0013)
- ・議題 ①交流視察研修について
②平成30年度事業計画(骨格案)について
③その他